

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月4日

上場会社名 国際石油開発帝石

上場取引所 東

コード番号 1605 URL <http://www.inpex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRユニットジェネラルマネージャ (氏名) 板野 和彦

TEL 03-5572-0233

四半期報告書提出予定日 平成21年11月11日

配当支払開始予定日

平成21年12月1日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	392,606	△47.1	202,284	△59.8	193,308	△59.7	47,645	△54.2
21年3月期第2四半期	741,594	—	503,721	—	479,426	—	104,028	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	20,244.57	—
21年3月期第2四半期	44,155.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	1,852,222	1,417,642	71.4	561,853.79
21年3月期	1,768,044	1,362,060	71.9	540,100.10

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 1,322,319百万円 21年3月期 1,271,122百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	4,000.00	—	4,000.00	8,000.00
22年3月期	—	2,500.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	2,500.00	5,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	778,000	△27.7	388,000	△41.5	372,000	△39.6	86,000	△40.7	36,541.41

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年3月期第2四半期 2,358,410株 21年3月期 2,358,410株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 4,916株 21年3月期 4,916株

③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間） 22年3月期第2四半期 2,353,494株 21年3月期第2四半期 2,355,941株

(注)甲種類株式は剰余金の配当請求権及び残余財産分配請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、普通株式と同等の株式としております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、石油・天然ガス価格、円/米ドル等の為替レート、生産・販売計画、プロジェクト開発スケジュール、政府規制、財務・税制条件等の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は5ページを参照してください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間は前年同期と比べ油価・ガス価が下落したことに加え、平均為替レートが円高に推移したことにより、売上高は前年同期比348,987百万円、47.1%減の392,606百万円となりました。このうち原油売上高は前年同期比245,484百万円、51.4%減の232,564百万円、天然ガス売上高は前年同期比100,838百万円、40.5%減の148,045百万円となりました。当第2四半期連結累計期間の販売数量は、原油が前年同期比590千バレル、1.5%増加の38,891千バレルとなりました。天然ガスは、前年同期比8,417百万立方フィート、4.3%増加の205,766百万立方フィートとなりました。このうち、海外生産天然ガスは、前年同期比10,426百万立方フィート、6.2%増加の179,474百万立方フィートとなり、国内生産天然ガスは、前年同期比54百万立方メートル、7.1%減少の704百万立方メートル、立方フィート換算では26,291百万立方フィートとなっております。販売価格は、海外生産原油売上の平均価格が1バレル当たり61.99米ドルとなり、前年同期比54.74米ドル、46.9%の下落となりました。海外生産天然ガス売上の平均価格は千立方フィートあたり6.91米ドルとなり、前年同期比4.82ドル、41.1%の下落となりました。また、国内生産天然ガスの平均価格は立方メートルあたり35円54銭となり、前年同期比1円71銭、4.6%の下落となっております。売上高の平均為替レートは1米ドル95円38銭となり、前年同期比10円62銭、10.0%の円高となりました。

売上高の減少額3,489億円を要因別に分析しますと、販売数量の増加により177億円の増収要因、販売単価の下落により3,246億円の減収要因、為替は円高により394億円の減収要因、その他の売上高は26億円の減収要因となりました。

一方、売上原価は、主にADMA鉦区における売上減に伴うロイヤリティの減少により前年同期比39,888百万円、21.2%減の148,567百万円となりました。探鉱費は主にオセアニアの探鉱活動の減少により、前年同期比7,624百万円、48.5%減の8,098百万円となりました。販売費及び一般管理費は前年同期比38百万円、0.1%減の33,656百万円となりました。以上の結果、営業利益は前年同期比301,436百万円、59.8%減の202,284百万円となりました。

営業外収益は、受取配当金の減少や、前年同期に計上した持分法による投資利益が当四半期は投資損失になったことにより、前年同期比3,469百万円、32.4%減の7,232百万円となりました。営業外費用は主にマセラ鉦区における探鉱活動の減少に伴う生産物回収勘定引当金繰入額の減少や投資有価証券評価損の減少により前年同期比18,788百万円、53.7%減の16,207百万円となりました。この結果、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は前年同期比286,117百万円、59.7%減の193,308百万円となりました。

法人税、住民税及び事業税は前年同期比237,841百万円、62.9%減の140,580百万円、法人税等調整額は2,336百万円、少数株主利益は2,747百万円となり、以上の結果四半期純利益は前年同期比56,383百万円、54.2%減の47,645百万円となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

製品の単価の下落及び原油・天然ガス販売量の減少により、売上高は前年同期比7,650百万円、16.5%減の38,846百万円、営業利益は前年同期比5,356百万円、33.3%減の10,751百万円となりました。

②アジア・オセアニア

原油・天然ガス販売量は増加したものの、油価及びガス価の下落により、売上高は前年同期比120,415百万円、42.0%減の166,323百万円、営業利益は前年同期比122,713百万円、59.8%減の82,618百万円となりました。

③ユーラシア(欧州・NIS諸国)

ACG油田における原油販売量は増加したものの、油価下落により、売上高は前年同期比17,235百万円、31.7%減の37,160百万円、営業利益は前年同期比17,898百万円、54.7%減の14,801百万円となりました。

④中東・アフリカ

油価下落及びADMA鉦区における原油販売量の減少に伴い、売上高は前年同期比207,765百万円、59.4%減の142,033百万円、営業利益は前年同期比157,745百万円、62.1%減の96,348百万円となりました。

⑤米州

油価下落はあったものの、原油販売量の増加により、売上高は前年同期比4,078百万円、97.9%増の8,242百万円、営業利益は前年同期比3,026百万円増の1,924百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,852,222百万円となり、前連結会計年度末の1,768,044百万円と比較して84,177百万円の増加となりました。資産増加の主な内訳は、直江津LNG受入基地建設工事等により有形固定資産が33,307百万円増加したことに加え、カシヤガン油田等への投資により生産物回収勘定が32,753百万円増加したことによるものであります。

一方、負債は434,580百万円で、前連結会計年度末の405,984百万円と比較して28,595百万円の増加となりました。このうち流動負債は228,051百万円で、前連結会計年度末比21,991百万円の増加、固定負債は206,528百万円で、前連結会計年度末比6,603百万円の増加となりました。

純資産は1,417,642百万円となり、前連結会計年度末比55,581百万円の増加となりました。このうち、少数株主持分は95,322百万円で、前連結会計年度末比4,384百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、期首の162,844百万円に当第2四半期中に増加した資金33,662百万円を加えた196,507百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローの状況及びそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比102,772百万円減の108,610百万円となりました。これは、主に油価下落に伴う税金等調整前四半期純利益及び法人税等の支払額の減少によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、前年同期比87,929百万円減の91,168百万円となりました。これは、主に投資有価証券の取得による支出が減少したことによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、前年同期は50,624百万円の資金を使用しましたが、当第2四半期連結累計期間は22,581百万円の資金を得ております。これは、主に短期借入金の純増減額の増加や長期借入れによる収入の増加によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期連結通期業績予想については、平成22年3月期の第2四半期連結累計期間の実績を加味し、さらに下期の原油価格及び為替レートの前提などを見直した結果、平成21年8月5日に公表の数値から下記のとおりの修正を行いました。

連結通期業績予想（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	720,000	316,000	296,000	56,000
今回修正予想（B）	778,000	388,000	372,000	86,000
増減額（B－A）	58,000	72,000	76,000	30,000
増減率（％）	8.1	22.8	25.7	53.6

上記見通しは以下の前提により算出しております。

	前回発表予想		今回修正予想	
原油価格 （ブレント）	上期	59.0ドル/バレル	上期(実績)	64.4ドル/バレル
	下期	55.0ドル/バレル	下期	65.0ドル/バレル
	通期平均	57.0ドル/バレル	通期平均	64.7ドル/バレル
為替	上期	96.2円/ドル	上期(実績)	95.5円/ドル
	下期	95.0円/ドル	下期	90.0円/ドル
	通期平均	95.6円/ドル	通期平均	92.8円/ドル

なお、当社販売の原油価格は油種毎に価格が異なり、ブレントに比べ価格差があります。価格差は油の品質等により異なり、また、市況等により価格差も一定ではありません。当社販売の原油価格は一部を除きブレントに比べ低い価格になっております。

4. その他

表示方法の変更

前第2四半期連結累計期間において、営業外費用に区分掲記しておりました「投資有価証券評価損」は営業外費用の総額の100分の20以下となったため、当第2四半期連結累計期間では営業外費用の「その他」に含めて表示しました。なお、当第2四半期連結累計期間における「投資有価証券評価損」の金額は5百万円であります。

5.【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	128,839	117,393
受取手形及び売掛金	77,650	73,540
有価証券	169,039	149,507
たな卸資産	16,007	18,205
その他	52,430	52,491
貸倒引当金	24	28
流動資産合計	443,943	411,110
固定資産		
有形固定資産	330,942	297,635
無形固定資産		
のれん	111,503	114,883
その他	134,272	138,797
無形固定資産合計	245,775	253,680
投資その他の資産		
投資有価証券	341,376	344,698
生産物回収勘定	486,675	453,922
その他	109,178	106,262
貸倒引当金	483	528
生産物回収勘定引当金	92,824	87,828
探鉱投資引当金	12,362	10,907
投資その他の資産合計	831,560	805,618
固定資産合計	1,408,278	1,356,934
資産合計	1,852,222	1,768,044
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,732	11,873
短期借入金	40,814	27,816
未払法人税等	68,282	70,419
探鉱事業引当金	9,931	7,948
役員賞与引当金	75	134
その他	96,214	87,867
流動負債合計	228,051	206,059
固定負債		
長期借入金	144,124	136,430
退職給付引当金	8,187	8,545
廃鉱費用引当金	14,163	14,192
開発事業損失引当金	1,964	1,964
特別修繕引当金	426	404
その他	37,662	38,387
固定負債合計	206,528	199,924
負債合計	434,580	405,984

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	418,477	418,477
利益剰余金	883,064	844,832
自己株式	5,248	5,248
株主資本合計	1,326,293	1,288,062
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,598	6,817
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	7,572	10,121
評価・換算差額等合計	3,974	16,939
少数株主持分	95,322	90,938
純資産合計	1,417,642	1,362,060
負債純資産合計	1,852,222	1,768,044

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	741,594	392,606
売上原価	188,455	148,567
売上総利益	553,139	244,039
探鉱費	15,722	8,098
販売費及び一般管理費	33,695	33,656
営業利益	503,721	202,284
営業外収益		
受取利息	3,468	2,328
受取配当金	3,766	2,206
持分法による投資利益	1,349	-
その他	2,117	2,696
営業外収益合計	10,701	7,232
営業外費用		
支払利息	3,402	513
持分法による投資損失	-	902
生産物回収勘定引当金繰入額	14,192	2,653
探鉱事業引当金繰入額	2,521	4,353
投資有価証券評価損	5,108	-
為替差損	5,240	4,561
その他	4,531	3,221
営業外費用合計	34,996	16,207
経常利益	479,426	193,308
税金等調整前四半期純利益	479,426	193,308
法人税、住民税及び事業税	378,421	140,580
法人税等調整額	7,360	2,336
法人税等合計	371,061	142,916
少数株主利益	4,336	2,747
四半期純利益	104,028	47,645

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	479,426	193,308
減価償却費	19,675	19,919
のれん償却額	3,380	3,380
生産物回収勘定引当金の増減額(は減少)	16,781	4,885
探鉱事業引当金の増減額(は減少)	2,265	1,834
退職給付引当金の増減額(は減少)	149	359
廃鉱費用引当金の増減額(は減少)	1,309	68
その他の引当金の増減額(は減少)	9	1,369
受取利息及び受取配当金	7,234	4,535
支払利息	3,402	513
為替差損益(は益)	984	141
持分法による投資損益(は益)	1,349	902
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	25,240	25,067
生産物回収勘定(非資本支出)の増加額	25,250	8,379
売上債権の増減額(は増加)	15,773	3,325
たな卸資産の増減額(は増加)	1,065	2,174
仕入債務の増減額(は減少)	5,035	740
その他	1,568	5,524
小計	522,362	243,096
利息及び配当金の受取額	7,655	5,738
利息の支払額	3,871	843
法人税等の支払額	314,763	139,381
営業活動によるキャッシュ・フロー	211,383	108,610
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	2,644	2,857
定期預金の払戻による収入	2,904	2,290
有形固定資産の取得による支出	40,267	50,315
有形固定資産の売却による収入	242	22
無形固定資産の取得による支出	1,012	619
有価証券の取得による支出	7,070	-
有価証券の売却による収入	60,281	52,320
投資有価証券の取得による支出	129,053	35,569
投資有価証券の売却による収入	1,010	-
生産物回収勘定(資本支出)の支出	64,063	49,191
短期貸付金の増減額(は増加)	45	1
長期貸付けによる支出	1,416	5,450
長期貸付金の回収による収入	580	13
その他	1,456	1,809
投資活動によるキャッシュ・フロー	179,098	91,168

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	115	15,693
長期借入れによる収入	6,800	17,681
長期借入金の返済による支出	52,899	2,498
少数株主からの払込みによる収入	6,480	1,270
自己株式の取得による支出	1,335	-
配当金の支払額	9,418	9,417
少数株主への配当金の支払額	81	81
その他	54	66
財務活動によるキャッシュ・フロー	50,624	22,581
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,326	6,360
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	12,012	33,662
現金及び現金同等物の期首残高	222,269	162,844
現金及び現金同等物の四半期末残高	210,257	196,507

（4） 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

全セグメントの売上高及び営業利益の合計額に占める石油・天然ガス関連事業の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

全セグメントの売上高及び営業利益の合計額に占める石油・天然ガス関連事業の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	ユーラシア (欧州・ NIS諸国) (百万円)	中東・ アフリカ (百万円)	米州 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	46,496	286,738	54,395	349,799	4,163	741,594	—	741,594
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	46,496	286,738	54,395	349,799	4,163	741,594	—	741,594
営業利益 (又は営業損失(△))	16,108	205,331	32,700	254,093	△1,102	507,131	(3,410)	503,721

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度及び事業活動の相互関連性によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) アジア・オセアニア……………インドネシア、オーストラリア、東チモール、ベトナム
- (2) ユーラシア(欧州・NIS諸国)…アゼルバイジャン、カザフスタン、イギリス
- (3) 中東・アフリカ……………アラブ首長国連邦、コンゴ民主共和国、イラン、リビア、エジプト、
アルジェリア、アンゴラ
- (4) 米州……………ベネズエラ、エクアドル、アメリカ合衆国、カナダ、
スリナム、ブラジル

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア・ オセアニア (百万円)	ユーラシア (欧州・ NIS諸国) (百万円)	中東・ アフリカ (百万円)	米州 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	38,846	166,323	37,160	142,033	8,242	392,606	—	392,606
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	38,846	166,323	37,160	142,033	8,242	392,606	—	392,606
営業利益	10,751	82,618	14,801	96,348	1,924	206,445	(4,160)	202,284

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度及び事業活動の相互関連性によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) アジア・オセアニア……………インドネシア、オーストラリア、東チモール、ベトナム
- (2) ユーラシア(欧州・NIS諸国)…アゼルバイジャン、カザフスタン、イギリス
- (3) 中東・アフリカ……………アラブ首長国連邦、コンゴ民主共和国、イラン、リビア、エジプト、
アルジェリア、アンゴラ
- (4) 米州……………ベネズエラ、エクアドル、アメリカ合衆国、カナダ、
スリナム、ブラジル

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	アジア・オセアニア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	253,315	31,306	284,621
II 連結売上高(百万円)			741,594
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	34.2	4.2	38.4

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・オセアニア…韓国、台湾、インドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、
オーストラリア

(2) その他の地域……アメリカ合衆国、オランダ

3 海外売上高は、本邦以外の国又は地域向け売上高であり、最終仕向地を基準としております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	アジア・オセアニア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	125,722	30,978	156,700
II 連結売上高(百万円)			392,606
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	32.0	7.9	39.9

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・オセアニア…韓国、台湾、インドネシア、シンガポール、タイ、インド、
オーストラリア

(2) その他の地域……アメリカ合衆国、イタリア

3 海外売上高は、本邦以外の国又は地域向け売上高であり、最終仕向地を基準としております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。

6. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別 セグメント	区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
石油・天然ガス 関連事業	原油	41百万バレル (日量223千バレル)	39百万バレル (日量216千バレル)
	天然ガス	195十億CF (日量1,068百万CF)	205十億CF (日量1,119百万CF)
	小計	73百万BOE (日量401千BOE)	74百万BOE (日量402千BOE)
	石油製品	114千kl (719千バレル)	116千kl (732千バレル)
	ヨード	247t	206t
	発電	58百万kWh	56百万kWh

- (注) 1 海外で生産されたLPGは原油に含みます。ただし、国内の製油所にて生産されたLPGは石油製品に含みます。
 2 原油の生産量の一部は、石油製品の原料として使用しております。
 3 原油及び天然ガス生産量の一部は、発電燃料として使用しております。
 4 上記の生産量は持分法適用関連会社の持分を含みます。また、上記の生産量は連結子会社及び持分法適用関連会社の決算日にかかわらず、4月1日から9月30日の実績となっております。
 5 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しております。なお、当社グループの権益比率ベースの生産量は、原油61百万バレル(日量336千バレル)、天然ガス271十億CF(日量1,480百万CF)、合計107百万BOE(日量583千BOE)となります。なお、権益比率ベースのガス生産量算出にあたり、2009年3月期までは、井戸元(セパレーター分離後)で計量された鉱区100%ベースの生産量を用いておりましたが、2010年3月期より自社消費分、圧入分、フレア分、放散分、プラントにおけるプロセスロス、不活性ガスを含まず、性状調整による増減を加味した、買主への販売に対応した数量を用いて算出しております。
 6 BOE(Barrels of Oil Equivalent)原油換算量
 7 石油製品は換算後の数値を括弧内に記載しております。換算係数は1kl当たり6.29バレルです。
 8 ヨードは、他社への委託精製によるものであります。
 9 数量は単位未満を四捨五入しております。

②受注実績

当社グループの販売実績のうち、受注高が占める割合は僅少であるため受注実績の記載は省略しております。なお、石油・天然ガス関連事業は、受注生産を行っておりません。

③販売実績

- a) 当社グループは海外で生産された原油のうち当社取得権利量を、国内の精製会社をはじめ、国内外の需要家へ販売しております。インドネシアで生産された天然ガスはプルトミナを通じ、主にLNGとして日本の電力会社、都市ガス会社や、韓国、台湾等の需要家に販売しております。国内で生産された天然ガスはパイプラインを経由して沿線の需要家に販売しております。
- b) 当第2四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

事業の種類別 セグメント	区分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	
		石油・天然ガス 関連事業	原油	38,301千バレル	478,048
天然ガス	197,349百万CF		248,884	205,766百万CF	148,045
	LPG:1,083千バレル			LPG:1,019千バレル	
その他	13,782		10,660		
小計	740,715		391,269		
その他の事業		879		1,337	
合計		741,594		392,606	

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 決算日が12月31日の連結子会社につきまして、連結決算日で決算を行っている会社を除き、1月から6月の業績を連結しております。ただし、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っております。
 3 販売量は、単位未満を四捨五入しております。
 4 主要相手先別の販売実績及び総販売実績に対する割合は以下のとおりであります。なお、プルトミナへの販売の大部分は天然ガスであり、その過半をLNGとして日本の需要家へ販売しております。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)
プルトミナ	211,706	28.5	114,927	29.3
出光興産株	76,460	10.3	40,358	10.3